

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	母子寡婦福祉連合会補助事業		コード	福祉事務所障害者福祉係
			02-01-03-28	担当者 尾崎由実
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		電話	内線183
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	障害者(児)福祉		
	施策	交流イベントの開催		

事業について	
目的	母子寡婦会員の相互扶助と親睦を図りながら、関係機関との連携をとり福祉増進を図る。
対象 (誰のために)	市内在住の母子家庭、寡婦家庭の婦人
内容	母子寡婦福祉連合会への活動助成金を補助する。

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
会員数	95 人
活動回数	10 回

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	45	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	970	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,015	一般財源等	1,015	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.15	人
結果指標名	会員数	
結果指標量	95	
単位	人件費	
対前年比	—	0.00%
事業費	1,015,000	円
単当たりコスト①	10,684	円

結果指標名	活動回数	
結果指標量	19	
単位	回	
対前年比	—	0.00%
事業費	1,015,000	円
単当たりコスト②	53,421	円

事業の成果		
成果指標名	活動回数	式又は説明
	17年度	
成果指標量	20	
対前年比	—	0.00%
到達目標値	20	到達目標年度 毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	会の運営を行っていくには必要な補助金である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
市の関与の妥当性	市の関与の妥当性	補助金交付要綱により適正な交付を行っている。
	コストの効率化	
効率性の評価	手段の最適化	相談業務及び各種団体との交流も活発に行われている。また、市の行事への参加も積極的である。
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	相談業務及び各種団体との交流も活発に行われている。また、市の行事への参加も積極的である。
	成果向上の可能性	
市民参画度	市民参画度	

総合評価	
コメント	会の健全な運営と活発な活動が行われている。
評価区分	<A~E>
	B

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	20
目標値	結果指標量② 20

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。